

# 高階秀爾氏ご略歴

東大名誉教授、大原美術館館長  
西洋美術振興財団理事長

1932年東京生まれ。53年東京大学教養学部教養学科卒業。東京大学大学院在学中54～59年フランス政府招聘給費留学生として渡仏、パリ大学付属美術研究所及びルーヴル学院で西洋近代美術史を専攻。59年国立西洋美術館勤務。71年東京大学文学部助教授。79年同教授。92年国立西洋美術館長。2000年同退官。00年西洋美術振興財団理事長。02年大原美術館館長。04年京都造形芸術大学大学院院長(08年退任)、同比較芸術学研究センター所長(09年退任)。1992年東京大学名誉教授。97年パリ第一大学名誉博士。



## ●海外研究

1967～68年ニューヨーク他(ロックフェラー三世財団招聘研究員)。74年ロンドン(ブリティッシュ・アカデミー招聘研究員)。77～78年パリ(国立ポンピドゥー芸術文化センター客員教授、近代日本美術史セミナー担当)。81～82年ノース・カロライナ(ナショナル・ヒューマニティーズ・センター研究員)。83年ベネツィア(チーニ財団研究所国際文化講座講師)。87年パリ(コレージュ・ド・フランス招聘教授)。90～91年ケンブリッジ(ハーヴァード大学招聘研究員)。

## ●受賞

1971年芸術選奨文部大臣賞、72年翻訳文化賞、81年フランス、芸術文芸シュヴァリエ勲章、88年放送文化賞、89年フランス、芸術文芸オフィシエ勲章、96年フランス、芸術文芸コマンドール勲章、97年明治村賞、98年日本文化デザイン大賞、2000年紫綬褒章、01年フランス、レジオン・ドヌール シュヴァリエ勲章、02年日本芸術院賞・恩賜賞、03年イタリア、グランデ・ウフィチャーレ勲章、05年文化功労者。2012年文化勲章。

## ●主著

『世紀末芸術』(ちくま学芸文庫)、『芸術空間の系譜』(鹿島出版会)、『美の思想家たち』(青土社)、『名画を見る眼』正統(岩波新書)、『ルネッサンスの光と闇』(中公文庫)、『日本近代美術史論』(ちくま学芸文庫)、『近代絵画史—ゴヤからモンドリアンまで』上下(中公新書)、『近代日本の美意識』(青土社)、『歴史のなかの女たち』(岩波現代文庫)、『西欧芸術の精神』(青土社)、『ルネッサンス夜話』(平凡社)、『ピカソ—剽窃の論理—』(ちくま学芸文庫)、『想像力と幻想—西欧—一九世紀の文学・芸術—』(青土社)、『20世紀美術』(ちくま学芸文庫)、『日本美術を見る眼』(岩波書店)、『フランス絵画史』(講談社学術文庫)、『西欧絵画の近代』(青土社)、『日本絵画の近代』(青土社)、『世紀末の美神たち』(青土社)、『19・20世紀の美術—岩波日本の流れ—』(岩波書店)、『芸術のパトロンたち』(岩波新書)、『西洋の眼 日本の眼』(青土社)、『バロックの光と闇』(小学館)、『肖像画論』(青土社)、『誰も知らない「名画の見方」』(小学館)他。